

令和3年7月12日の 大雨に関する愛知県気象速報

目次

- 1 気象概況と大雨の状況
- 2 情報の発表状況
 - 2.1 警戒レベル相当情報の発表状況
 - 2.2 気象情報等の発表状況

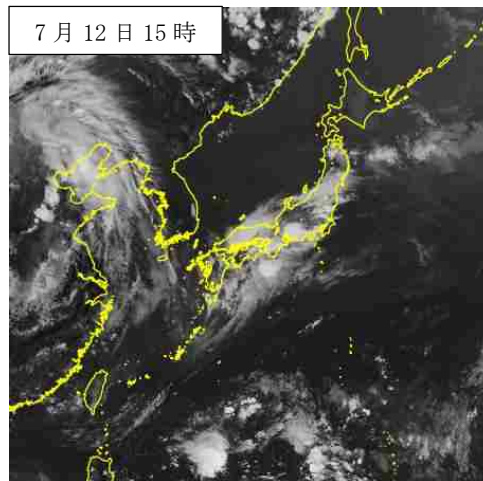
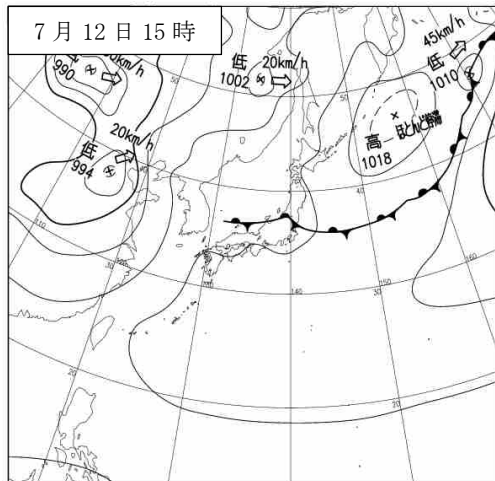
令和3年7月12日
名古屋地方気象台

注：本資料は速報として7月12日18時までの状況を取りまとめたものです。
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります

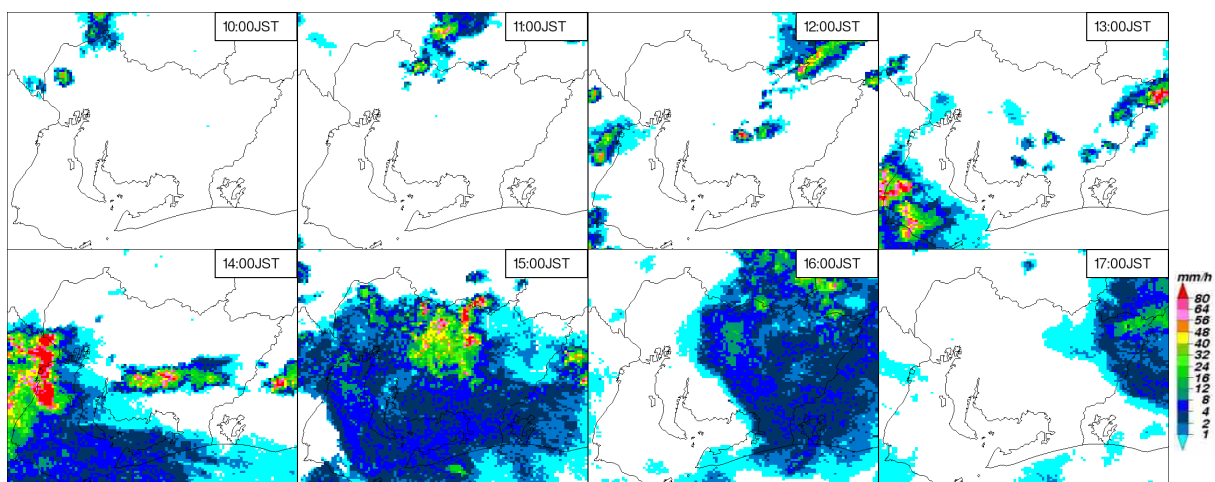
1 気象概況と大雨の状況

7月12日は、梅雨前線が日本海西部から本州を通過して日本の東へのび、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、日本の上空約6000メートルには、氷点下6度以下の寒気が流入した。愛知県では、大気の状態が非常に不安定となったため、昼過ぎから夕方、雷を伴って激しい雨が降り、局地的に非常に激しく降った所があった。

アメダスの豊田では、日最大1時間降水量の7月としての第1位を更新した。
 (59.0mm、これまでの1位：36.5mm、2019/7/4)

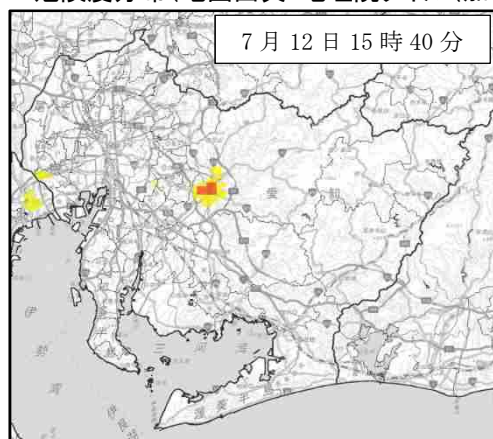


7月12日15時の地上天気図（左）と気象衛星赤外画像（右）

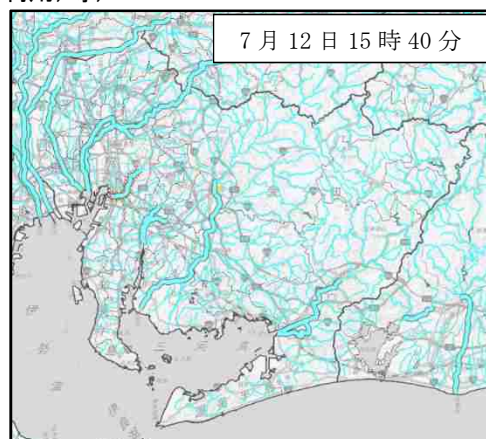


レーダーエコー合成図(7月12日10時00分～12日17時00分、1時間毎)

危険度分布(地図出典:地理院タイル(加工して利用)等)



大雨警報(浸水害)の危険度分布
(7月12日15時40分)



洪水警報の危険度分布
(7月12日15時40分)

